

中・四国アメリカ学会50周年記念年次大会
公開シンポジウム

変容する アメリカと 世界

2022

11/26 土

14:35 ▶ 17:35

参加費
無料

場所

広島大学東千田未来創生センター
M304 教室

後援：中国新聞社／司会：倉科 一希（同志社大学）

21世紀に入ってから、アメリカ合衆国の政治や対外関係、経済や社会は、大きな変化を経験してきました。同時多発テロによって幕を開けた21世紀は、イラク戦争の泥沼化と世界金融・経済危機によって急変したのです。アメリカ合衆国の歴史上で初めて、アフリカ系アメリカ人と公職の経験をまったく欠いたビジネスマンを大統領に選んだのも、そうした変化がもたらしたものです。人種的マイノリティや女性、移民をめぐる問題は、厳しさを増しこそすれ、収束する様子が見られません。さらに今年になって、東ヨーロッパで生じた武力衝突が、政治外交はもちろん経済や社会にも影響を及ぼしつつあります。このようにさまざまな形で生じている変化について、このシンポジウムは、歴史、文化、そしてウクライナ危機とのかかわりという観点から考察します。

報告者

秦野 貴光

(広島市立大学)

ウクライナ戦争後のアメリカの外交・安全保障戦略と
リベラル国際秩序

的場 いづみ

(広島大学)

遠隔操作による戦争
—2010年代の戦争映画とウクライナ危機の言説

佐々木 卓也

(立教大学)

アメリカ外交の長期的変容
—国内政治・国際秩序との関係で



特別講師経歴

佐々木 卓也 (立教大学法学部教授)：日本国際政治学会理事長など要職を歴任。著作として『アイゼンハワー政権の封じ込め政策』(有斐閣、2008年)。編著として『戦後アメリカ外交史』(有斐閣、2017年)。

お問い合わせ

参加ご希望の方は以下までご連絡ください。

中・四国アメリカ学会事務局 山本貴裕 Email : tk-yama@hue.ac.jp